

94
10
39

準貴

亭保八癸卯年

公義被御上八

同才乙巳年

享保八癸卯年より

公義新書上



同十乙巳年迄



享保八庚卯の正月十日

「康熙帝」の御法身は「皇内」に在りて「皇太后」
「通」の旨に書さるべし。今在りて「皇太后」
「山城」に在りて「皇太后」に在りて「皇太后」
「皇太后」に在りて「皇太后」に在りて「皇太后」
「皇太后」に在りて「皇太后」に在りて「皇太后」

口是口非

小京「康熙帝」六十九歳と云ふ

享保八庚卯の正月十日
山城に在りて
皇太后に在りて

對馬守純正御

御城守中下之親類物之元

之室

之室

之津

之山

之田

之坂

浪之坂

表之津

田之坂

之室

之室

右之由之社公今公なるは

其御之室

乃

對馬守
其御之室

「享保以多和歲五月朔日己未年春
中より以の中より以の北京康熙帝
弟母の權王長位より年号雍正と
改元の他御親儀よりより御作也
中より以の別より書内より上書古通
少徳以用者安在對馬より授より南宮始
論事古治志より抄録よりより御作廣漸
徳志事よりより御作以上より上書

五少の慶忌より御作 城成作抄大
抄よりより御作より御作より御作
中より御作より御作

以上より

少京原康熙帝弟母の權王より位
有より年号雍正と改元の他御親儀
より御作より御作より御作より御作
御作より御作より御作より御作

右正用番物... 後... 同... 知... 紙...

... 後... 紙...

享保八癸卯歲六月十一日

城... 原... 紙...

之請委細之書為之長安以力右
身分元書之在、德持衆下、以必不
為其之書、必以大之、又古記之

以上之

對馬守上公、私候事、十六日、早、如、祥、意、
城下、上、公、世、色、上、公、所、在、候、初、也、
右、長、在、洞、心、上、
京對馬守傳云

六月十日

京、尾、志、傳

是

一享保三年十一月廿八日、當對馬守
繼月、中、終、中、上、同、年、十二、月、朔、日
清暇、下

一、同、年、九、月、廿、七、日、朔、解、信、使、同、日
衆、府、同、也、十、月、十、二、日、也、能、下

一、同、年、十、月、廿、二、日、也、能、下、
信、使、同、日、江、口、也、衆、勤、家、法、免

立國江作

一曰六年十月九日幕府御覽二年二月
廿七日沙眼之儀下立中江高年
幕府江高年御覽
當年御覽

六月十日

宗對馬守

宗宅書

一嘉保八癸卯年九月八日

去々年大浦陰金の正仕波幕府御覽
中々津屋浦に忠入所と一昨より
正補並に味以交又楊書式金の正仕
波幕府御覽の忠入所と一昨より
沙屋浦に忠入の忠入は右の幕府御覽
去々改次幕府御覽の忠入は右の幕府御覽
沙屋入の忠入の忠入は右の幕府御覽

左の爲の小屋は小屋におおきく道おほく交
する東の戸は小津書下は世向の付く戸は
只の補の事一難事法はるは善業の心
法定は後補の法よの儀付の上書
草業の候は古の爲の中入は古の法
屋敷の出入りは補定は候しき
上は東の戸は小津書下は世向の付く戸は
只の補の事一難事法はるは善業の心
法定は後補の法よの儀付の上書
草業の候は古の爲の中入は古の法
屋敷の出入りは補定は候しき

以上書お総の如く古の爲の中入は古の法
屋敷の出入りは補定は候しき
上は東の戸は小津書下は世向の付く戸は
只の補の事一難事法はるは善業の心
法定は後補の法よの儀付の上書
草業の候は古の爲の中入は古の法
屋敷の出入りは補定は候しき

此世道世向之紀以能之戸在言之戸以付
丈夫觀示古往世善下之波持乘之戸能
仁愛之戸而後書付之世之愛之世也
之紀以古古之原之戸捕之戸後世之世
此世而消能之戸関子之世古之世也
之書并世向之紀以書付之寫法之世
古能之

仁愛之世

物之家事中大浦陸金之上仕中乃及七年
女之業程大之去之五年十月廿七日於
此世而能之世也持書之世也仕中乃
如業年三程之業程大之去之實之月廿日
是又也此世也之世也仕之古也人古也
此世而能之世也持書之世也仕中乃
主向中之波持乘之世也之世也
須自役人古也古也古也古也古也古也

古公為

卯九月十日

町内奉行に用者海濱並流古新古定是為
波美之山石原井上平馬石波内後上達山
以日山付上上交對馬島家斗之浦流美
石仕中より致七代昨十日書對馬島島揚為
山符波行云對馬島島之書一之波島山私

美書波波拍系山流美之波島下流山
之業内之付山石原並入山島一之山知
對馬島島石原山石原山石原山石原山
山書山石原山石原山石原山石原山
一之山定美山美書美山石原山石原山
山石原山石原山石原山石原山石原山
山石原山石原山石原山石原山石原山
山石原山石原山石原山石原山石原山
山石原山石原山石原山石原山石原山

九月八日地末

一宗對馬島之官以地家末之浦造為

中方紋七

右之紋七位昨日書之於母之持屋河
迎不之白之物由因之使之原定是

上中

右料紙袖村造紙造之

享保八癸卯年九月廿六日

世名町正身以下正身之故物格本

或長美之身其之居後所之正身物作身

右身之正身之用者之正身正身以証跡能

身之正身也其之正身也其之正身也其之

正身也其之正身也其之正身也其之正身也

正身也其之正身也其之正身也其之正身也

正身也其之正身也其之正身也其之正身也

後引與法與法之方力於多功及之致
引合分方之海中之道兼而引之而引之
引之而引之書分引之而引之書分
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之

右中法與法之方力於多功及之致
引合分方之海中之道兼而引之而引之

完

去八日對馬島方之方力於多功及之致
引合分方之海中之道兼而引之而引之
引之而引之書分引之而引之書分
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之
之引與書之方之引之引之引之引之

九月十六日

完
完
完

友部

一切又丹宗門法為之懈急今以政
中作之年之作出作亦法度事
亦亦為私領中亦亦之亦亦之亦亦
亦亦中一者少之亦亦之亦亦亦亦
亦亦者者者者者者者者者者者者
亦亦者者者者者者者者者者者者

一古切又丹之教務之者大常之
也之也之也之也之也之也之也之也

一領中亦之亦之亦之亦之亦之亦之
亦之亦之亦之亦之亦之亦之亦之亦之
亦之亦之亦之亦之亦之亦之亦之亦之

也

喜保八
宗對馬

麻呂列

播磨中

一通

建永

建部志卷之六
播田傳書後
一通

右科紙福村堂紙上卷日紙傳書之

享保八癸卯年十月十五日

朝鮮國京又高乃內橫港之漢民八人一艘志之
十月六日之教風同七日對列之內艚浦同乃
之內水堂之漢民一人一艘同年十月六日
之教風同九日對列之內於浦之漢民八人右
漢民之送之重以重之漢禮曹奉議返之
之東山對返者并漢民以上書今十九日
所用之松平左近將監之京宅之爲拘系

以爲其極淺之元氣也。以上各書悉以連封紙
作處。亦如上。恒以史反新。或以之。或以之。或以之。

一 所返者一箱

一 潘氏口上書并私具藥物之書付一函

但此書付一函紙。此書付一函紙。此書付一函紙。

上書。

對列 藥浦江 漂着之朝鮮人 口上書并私具

藥物之書付一函 但一函之

右奉書色之口上書并私封大上書。

物難漂氏口上書私具藥物書付一函

一 所連狀一通

右奉書色之口上書并私封大上書。

“ 涉使口上書前之物系以始先之文。及以
今夜交物系不仕也”

一 所返簡者一 張紙書付

對列 內藥浦江 漂着之朝鮮人 送屆
作付 漢禮曹 表議 返者 并 別幅

朝鮮漂流人口上書

一 秋儀朝鮮國慶尚宮の内機張と申す
漢民高沙在の八人ノ船高麗高月方ニ
當る高麗在申す又俄西風烈ニ成地方ニ
漕舟の儀那成申す六日洋中漂之其疾山
右見以對同七日對列ノ内船浦ニ漂出仕
唯高浦人ニ於て申す此波被抱申す八日船浦
出航申す日府中ニ船出シ又此舟係上

衣糧亦乏申す之流地ニ於て對那ニ申す
一 秋儀宗名ニ依沙島申す亦小觀音科
遊と志一ト云

漢民名并年

- 一 年廿九 李カイトク
- 一 同甲午五 張イブイ
- 一 同甲午二 張ゾシノミ
- 一 同甲午一 張ソイハニ

- 一 帆式張
- 一 櫓式張
- 一 楫一組
- 一 水柁式下
- 一 繩式第
- 一 繩式房
- 一 蓬式板
- 一 櫓式板

- 一回二十二
- 一回二十八
- 一回二十
- 一回十七

船具并荷物

一 船式艘 長七五寸
横二寸五分
深一寸五分

一 櫓式下

李イツトギ
 張クイベキ
 張ワリリ
 金クアギ

- 一 莖古殺
- 一 渴或
- 一 之繩之稱
- 一 奎又
- 一 細是也
- 一 手斧一挺
- 一 桶是
- 一 木所是

- 一 所是
- 一 籟又
- 一 加字于一
- 一 上

寅十月十日

朝鮮漂流人口上書

一 親之族朝鮮國慶尚道之內水學之書

漢氏高沙在口人一艘多進高月宮臨浦
 棧後亦越母之方彼亦高漢高亦高處俄
 而風流如成地方漕高以成部成風信
 漂流往同九月之船對列內終浦高船
 仕以處浦人高亦高船板抱終浦高船
 今才了方府中亦船信高又高沙高信高上夜
 糧亦高亦高以池氣高信高部高亦高
 一秋之宗高之信高為高亦高觀高秋高

急シヨム

漂流人名并年

- 一年三十九 李十ヨケセキ
- 一同六十九 朴シヨム十シヨム
- 一同四十九 崔シヨム一シヨム
- 一同四十一 金シヨム七シヨム八シヨム

船具并高也

- 一 船高艘 七十高船三人
七十高船三人
七十高船三人

一 橋をく

一 帆一浪

一 楫を舟

一 櫓を艇

一 水舟を舟

一 漕を

一 舟子の舟を

一 船を舟

一 船を舟

一 船の舟を舟

一 船を舟

一 水舟を舟

一 船を舟

一 水舟を舟

一 舟を舟

一 舟を舟

一細之帖

望

癸亥十月十日

事係以去年中或上月之日

去年十一月十日之內向津具

津島之郵部人彼由之送在在法書

手紙之在箱之在也其時之在吾津島

之在也其時之在吾津島之在也其時之在吾津島

手紙之在箱之在也其時之在吾津島之在也其時之在吾津島

收而後之在也其時之在吾津島之在也其時之在吾津島

手紙之在箱之在也其時之在吾津島之在也其時之在吾津島

日方は右... (Cursive handwriting, right page)
 日方は右...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...

...
 ...

...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...

...
 ...

...
 ...
 ...

清公の文雅成洋中之船の指
 但風流流江日暮の夜長品は津
 都の月白津具大と戸下は清名は清人
 之の如物持て致法所は之に在禮也
 長清者主と方遠於こもり不品は
 之如波補は清公今日之清公は江
 以の如對岸と名如江之清名は清公
 清公は清公の清公は清公の清公

一 秋の家名は清公の清公の清公の清公
 新進の清公

清公の清公

年 六十一

朴ボク

日 五十一

権ヲトニイ

日 三十一

全ニユニ

日 三十一

朴コニイ

日 三十一

朴トセニイ

日 二十八
 日 二十八
 日 三十
 日 三十一
 日 二十

船具之次第

一 船之艘

深サ九尺八寸
 長サ九尺五寸
 幅サ六尺七寸

深ボクセシイ

朴トセキ

金ヤヤクシイ

金マシイ

朴クシイ

一 櫓部

一 帆部

一 櫓指

一 かい

一 比

一 多

一 碇

一 櫓

一 かりん 徳屋

一 河 とうり 長

一 蓬 小箱 長

一 福 三

一 手 神 又

一 楠 大 由 六

一 糸 糸 徳 長

一 蓮 六

一 柳 二 長

一 細 口 長

一 細 川 六 糸

一 巾 子 長 六

一 糸 物 長 又

一 巾 子 長 八

一 股 子 長 三

一 巾 子 長 六

一 如新法理法

一 魁梧中

一 直善中板

一 形及十板

一 四指板

一 丁字板

一 值板

一 水乃三行

一 物抄部中

一 高之三一

一 形統

一 波理

一 度平一板

一 多流

一 出看一版

一 多外移

一日午刻西行

一 續命符

一 普濟符

一

卯

四月廿五日

享保八癸卯年十二月廿六日

水脚社事之類之類也

之類也

之類也

之類也

之類也

之類也

中

三

當其友之始分作知親馬、後建國、
中世流對引之、後志方紙、
吟伴仁之、廣尾、
之、又、名、
之、送、下、
致、
お、
お、
お、

世流上より、
心

二月

三

此科中より、

福、
左、
知、
吟、

享保八、九、十、十一、十二、年。當枯田代山領分令之
 相續、沙、之、田、相、持、毛、後、田、代、山、代、官、
 中、致、少、別、方、年、之、上、年、書、之、德、少、用、者、其、
 和、之、也、候、は、京、元、右、迄、也、也、也、也、也、也、也、
 迄、也、迄、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 以、上、年、書、之、所、之、廣、之、中、之、也、也、也、也、也、
 後、別、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 紙、面、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

以上之書、候、上、以、右、對、馬、之、中、之、也、
 俾、候、中、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 以、上、年、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 中、上、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

光

一田烟二千六百字拾八石七斗半

内田方二千七百字拾八石八斗半

同烟方字百九拾九石九斗半

右公肥前園之內私願命其卷雜卷受
由部當秋每之市須汰多之田細市每
括毛紅作以之

十一月十八日

宗對馬守

享保元甲辰歲之八月三日

「法然之」如親之之此致主出此托贊

痛后未以世之成作此之之之

此是之候之此是之此是之此是之

亦早之海之此是之此是之此是之

如親之、夜男之此是之此是之此是之

此是之此是之此是之此是之此是之

作之此是之此是之此是之此是之此是之

一、或作舟名石、辰、少、中、戶、と、記、す、也、
作、廣、通、之、名、焉、
二、戶、少、以、之、名、稱、之、也、
三、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
四、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
五、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
六、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
七、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
八、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
九、戸、少、以、之、名、稱、之、也、
十、戸、少、以、之、名、稱、之、也、

享保九年辰年二月八日

一、と、多、乃、其、和、米、也、
二、と、多、乃、其、和、米、也、
三、と、多、乃、其、和、米、也、
四、と、多、乃、其、和、米、也、
五、と、多、乃、其、和、米、也、
六、と、多、乃、其、和、米、也、
七、と、多、乃、其、和、米、也、
八、と、多、乃、其、和、米、也、
九、と、多、乃、其、和、米、也、
十、と、多、乃、其、和、米、也、

いふこと七歳ら成りて大に驚き
と云はれし八歳に成りて大に驚き
と云はれし九歳に成りて大に驚き
と云はれし十歳に成りて大に驚き
と云はれし十一歳に成りて大に驚き
と云はれし十二歳に成りて大に驚き
と云はれし十三歳に成りて大に驚き
と云はれし十四歳に成りて大に驚き
と云はれし十五歳に成りて大に驚き
と云はれし十六歳に成りて大に驚き
と云はれし十七歳に成りて大に驚き
と云はれし十八歳に成りて大に驚き
と云はれし十九歳に成りて大に驚き
と云はれし二十歳に成りて大に驚き

いふこと七歳ら成りて大に驚き
と云はれし八歳に成りて大に驚き
と云はれし九歳に成りて大に驚き
と云はれし十歳に成りて大に驚き
と云はれし十一歳に成りて大に驚き
と云はれし十二歳に成りて大に驚き
と云はれし十三歳に成りて大に驚き
と云はれし十四歳に成りて大に驚き
と云はれし十五歳に成りて大に驚き
と云はれし十六歳に成りて大に驚き
と云はれし十七歳に成りて大に驚き
と云はれし十八歳に成りて大に驚き
と云はれし十九歳に成りて大に驚き
と云はれし二十歳に成りて大に驚き

大形使の如く此の成りたる馬は
本年の秋に産むる馬の如く
和泉の如く此の馬は成りたる
去る年より此の馬は成りたる
長谷の如く此の馬は成りたる
和泉の如く此の馬は成りたる
去る年より此の馬は成りたる
源氏の如く此の馬は成りたる

今此和泉の如く此の馬は成りたる
目録の如く此の馬は成りたる

免

一 朔餅牡馬一疋

栗毛紋
七歳
天二寸

一 田北馬一疋

栗毛紋
七歳
小長

右田北の朔餅者お田北の如く此の馬は成りたる
今此の馬は成りたる

其形は毒地と傳ふに是れは其の
望

平一七〇 宗對馬

科法なるは傳りしは徳中宗法に
はと宗對馬と云ふ法

右傳に十書宗法一也稱集
宗對馬水地和泉寺傳
書宗法と云ふ法

望

云々云々 宗對馬 牝牡
尾盤ありしを旋毛画の
沙好の馬 宗對馬 宗對馬
宗對馬 宗對馬 宗對馬
宗對馬 宗對馬 宗對馬

波馬之儀波玉^とおしく波女^の成
 忍^り小^さ長^く^らん^ん上^り波^の玉^の成^る
 用^ひ市^の少^少多^多結^結斗^斗お^お丸^丸の^の成^る
 宮^の在^在儀^の初^初解^解表^表の^の成^る
 若^若波^波枕^枕の^の成^る又^又波^波律^律住^住の^の成^る
 乃^乃こ^こら^ら波^波の^の調^調五^五波^波の^の成^る
 對^對馬^馬の^の方^方の^の成^る
 之^之成^る
波馬の成る
 波^波の^の成^る

神波中其之波切。お波更波波の成る

右^右書^書方^方穩^穩成^成の^の成^る

同^同之^之九^九の^の本^本波^波和^和波^波の^の成^る
 未^未成^成の^の波^波成^成の^の成^る
 波^波成^成の^の成^る
 波^波成^成の^の成^る
 波^波成^成の^の成^る
 波^波成^成の^の成^る

かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち

かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち
かゝるもの目録を多く作るがそのうち

かゝるもの目録を多く作るがそのうち

かゝるもの目録を多く作るがそのうち

二月十五日

宗對馬

右神祇等之。右神祇等之。右神祇等之。右神祇等之。右神祇等之。

享保九甲辰年四月十六日

朝鮮國全羅道之國靈光之高人六人高船一艘
去年二月廿七日之放風同晦之辰五鴻船福浦
漂着全羅道之國羅列之漢民十一人高船一艘

商人廿五人高船一艘四月二日四月八日之放風四月十日
西海神沖泊給之國羅列之漢民十一人高船一艘
高船一艘之禮書各議通簡之書各議通簡之書
簡之書相子漢民之書之通今十有五日所用書
右之書相子漢民之書之通今十有五日所用書
右之書相子漢民之書之通今十有五日所用書
右之書相子漢民之書之通今十有五日所用書

一河通簡之箱

一漂民口上書并私具器物之書并之通

此等書并私具器物之書并之通

上卷八

五鴻頌

柘浦 沖泊坊 白羅灣

漂者之朝鮮人口上書并

私具器物之書并上項之德之通語之

右等書包之上上之書又私具器物之書并之通語之

朝鮮漂民口上書私具器物之書并下德

此等書并私具器物之書并之通語之

一河連狀之通

戶田山城之狀白之河連若狀之不通者名類之

河連之口上書并私具器物之書并之通語之

此等書并私具器物之書并之通語之

河連之口上書并

河連之口上書并漂者之朝鮮人送届非并從

禮曹參議通簡并別幅

朝鮮漂流人口上書

一、被之儀胡辨國人全羅道之内靈光寺一木之商人等
 以所載穀物在船武拾六人一船之乘船同道之内等々
 尸亦、其然當三月廿六日改帆之其後遭難風洋中
 之船具と換し地所、漕舟也儀難成程風漂流仕
 同晦日之夜、大流澳石浦之尸、亦漂恙結家浦人之
 所、亦船板死河澳之、其地之、流舟不足之船具
 等之、如、四月十一日長流表、之、送於河舟、以不
 河、以、傳、上、船、修、補、之、流、舟、六、月、十、日、長、流、申、船、仕、同
 流、舟、難、有、之、事、也、

漂民名号年

- 一、家、之、家、首、之、儀、河、舟、之、遊、以、為、之、親、高、親、遊、と、念、中、以
- 年四十一
- 同四十八
- 同二十九
- 同三十一

全ホナムソイ
 高ハイソソ
 朴ハイトグ
 玄クイホム

同五十二
同二十九
同二十六
同二十六
同四十六
同四十
同四十二
同五十七
同五十五
同四十一
同三十五
同二十二
同十二
同三十一
同四十二
同三十

康ニヨイセ
全ソイフ
康シホ
高ニヨイム
全ホソイフ
康フクソフ
岸イルホク
玄千セキ
全千六シ
高サクイク
康エクト
趙ニム
朴ハクイ
全ニヨイク
宋タイウ
高セソイ

月二十一

月四十四

月四十九

月三十

月二十五

月四十六

宋千八

高千工

全シウイ

成ホクエリ

李ニイクテ

全シユイク

和具并荷物

一 和一艘 長八間 横三間

一 楫一冊

一 櫓式舟

一 櫓三挺

一 帆二張

一 繩四房

一 蓬百五拾枚

一 苫繩二十九

一 布風呂湯二十九

一 木湯桶式筒

一 綿二箇

一 夏蓑粉桶筒

一 白米六拾九俵

一 石敷

一 芥子拾挺

一 名墨拾挺

一 香座十二枚

一 くりり大小式十二

- 一 皇武指六帖
- 一 榮統可六
- 一 水切如卷
- 一 福十九
- 一 抄抄武本
- 一 丸末四十二分

- 一 折浦可六枚
- 一 四十一
- 一 田子卷
- 一 卷三
- 一 危丁卷
- 一 折之卷

卯六月廿二日

卯

朝鮮漂流人口之書

一 我儀朝鮮國全羅道之內羅列之戶有漢民之
 沙於年十一月一船當於二月十六日為常夜至新白
 海越四月二日改帆之長遭難風洋中三櫓櫓之
 但凡漂流仕因十日之船不語於沖泊海之上而漂流
 信及又海人之事也其後被抱沖候之主海地是信分
 同十九日長海表之長海送而所年以不沙以信之
 和波福之信年七月廿六日長海表之長海送而所年以不沙以信之

着服仕の長湯表の取付に玉涙の地を以て記す
は合を好い

一 秋に宗首の儀は為す所の記すに就き秋遊と念し

中

漂民名考年

一年四十 新ヲク
一月二十九 俞エゾト
一月二十八 高ソエク

一月二十六 高フクシ

一月二十九 李ソフグ

一月二十九 玄ハイク

一月三十 全セクシ

一月二十九 高エクシ

一月十九 康イルウ

一月二十九 玄イヨフク

一月四十五 韓シカク

船具并荷物

一 船之艘

長サ六ツ
横サ三ツ

一 帆式法

一 櫓六挺

一 蓮百枚

一 繩三層房

一 白米六俵

一 風呂敷包五

一 櫓式廿

一 櫓三層

一 舟棹七本

一 舟ノ反三

一 碇三層

一 舟ノ八帖

一 舟ノ三

一 舟計六

一 舟ノ三挺

一 船鏡廿九

一 楫口三十一

一 折爰持三枚

一 櫓三

一 水瓶三

一 庖丁三枚

一 櫓三挺

一 木折三

一 大目三式

一 四三十五

一 舟ノ折三

一 飯次三

一 田子三

一 舟洗三

心

卯七月十四日

朝鮮漂流人口之書

一 部、儀胡群、必全羅道、向羅州、有本、商人、
 以、所、穀、也、為、烟、火、之、人、一、船、之、高、地、近、江、口、也、越、海、背、
 八、日、海、帆、之、多、以、依、遭、逆、風、洋、中、之、航、具、之、損、一、但、風、
 漂、流、江、口、十、日、之、始、也、海、傾、之、羅、洛、之、波、漂、志、以、海、人、
 之、也、市、船、也、危、以、以、自、自、地、之、以、以、長、海、表、之、也、

送、於、海、中、也、以、不、行、以、味、之、三、船、海、補、之、信、也、今、月、
 六、日、長、海、表、波、中、船、昨、十、二、日、對、府、兵、船、信、長、海、
 表、之、船、中、一、之、以、以、地、之、以、以、作、也、能、之、任、合、也、也、
 一、部、之、宗、名、之、儀、也、尋、之、遊、作、也、就、高、新、遊、也、會、

中

漂民名并年

一年四十
一回五十

姜リニ

因クワクニウ

一回四十六

一回四十二

一回三十八

一回四十四

一回四十

一回四十二

一回三十五

一回二十八

梁シウグ

盧クワシ

梁セイヨ

安ケイフグ

全トルセン

任シヤクウ

韓チセン

李クイトク

一回二十八

一回二十七

一回二十七

一回十九

一回二十四

一回五十一

一回四十八

一回四十一

韓セイク

宋ソトク

宋ハクミン

高クシチヤク

車ムニヨク

李イムサイグ

全サシイ

高ミントク

一月四十

一月三十

一月四十八

一月二十九

一月三十一

一月二十六

一月二十九

永具并寄物

李カムサシ

金ニヨチグ

鄭ソリグ

岡タイク

崔シユテシ

文シシユ

金ニブツイ

一 永具被 長ナセリ幅ニヨリ

一 襪

一 纏四房

一 帆式法

一 巾

一 巾

一 巾

一 巾

一 襪式本

一 襪四枚

一 道下之襪

一 水挿四枚

一 巾

一 巾

一 巾

一 巾

一 榮碗百十八
 一 寺々々々
 一 ありあり
 一 福武
 一 橋口九十四
 一 粟々々徳

一 四百十四
 一 飯次々
 一 田子一荷
 一 危丁一板
 一 天目十七
 一 吾武様帖

三

卯七月十四日

「京保九甲辰正二月六日此書書在太保
 下野也此一丸也書書建部家所出也
 大保後も物之志不不宛た為之也對列
 大坂と道程書付る也此書片付付り
 書付るも書書も道程物之志不不宛た
 持来伝心也物之志不不宛たは合分所
 戸穿對列る大坂と海路道程并書付る
 下り大坂と陰陽道程并書付持来伝

河... 東... 西... 南... 北... 中... 下... 大... 小... 海... 陸... 武... 百...
大記

光

一對列府中城下大坂近海路武百

三指黑狗

古之通古來古中傳公

一對列府中城下大坂近海路武百

一東方園全大坂近陸路百三指又里狗

右海陸合武百三指九里狗有自由

取及合如陸路百三指成路之

也此公之

宗對馬島
本島

光

一對列府中城下大坂近海路武百

三指畫

右通古本中傳公之

辰字月

宗對馬書

宗對馬書

書武通古本中傳公之

宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書
宗對馬書

書有左記

宗對馬書

私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也
私恨其子也

宗對馬書

宗對馬書

宗對馬書

砥礪 右大將

妻

因 實錫

衆升 應也

曰 曰

曰 曰 曰 曰

石 逐斗 減之 爲文 中 之 宜

但科 七 十 年 中 切 宜 法 書 年 色 又
爲 科 之 書 年 色

享保九甲辰十月十日

河國因代當年之宜改法從文通河深
相德切又丹法改法及本上通之若書有後
去改書從建初志麻書從法末在居無所
何致家改法古用中少法反子教了法後
法從文古從之

一切又丹家河法前之宜憐念今以相改中以此年
作古以河法度書之應法相守私領中其之亦

此之... 家... 者... 是又...
余... 不... 事...
一... 丹... 者... 行... 疑... 儀...
沙... 事...

一... 頃... 者... 事...
若... 後... 事... 達... 事...
心

享保九年辰年八月廿五日

家... 馬... 山... 括...
應... 判

左... 後... 一通
建... 後... 一通
長... 後... 一通

右... 行... 監... 事... 色... 色... 因... 後...

舟行 但此之

右等手色之... 胡解法氏... 舟行... 舟行...

胡解法流人... 舟行

一我之... 胡解法... 舟行... 舟行... 舟行...

舟行... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行...

一我之... 舟行... 舟行... 舟行... 舟行...

女令也

漢氏名年

年字九

金テブグヨ

田字七

鄭ニナム

田字九

金ニサニ

田字八

羊ソリ

田字一

金ツルギ

田字六

漆ソルギ

田字一

金リニテリ

田字一

金ニニイ

田字九

盧ソホイ

船具名年

一船一艘

セサ七ヨ
横ニヨク

一橋ニテ

一帆一漣

一櫓ニテ

一破一臥

一多掉二本

一蓬七枚

一筆紙一

一奥河邊多也

一鬻一本

一箱六ツ

一斧一挺

一梳一和

一信一房

一莖一枚

一筆八ツ

一筆二ツ

一漸一枚

一小刀一本

一本洋六ツ

一鍋一

一收門十

一釜一

一玉丸十九

一匹巾三

心

辰
正月十日

香中不亦可。定月九日。豐文云。首
中。或出。後。為。子。丁。之。指。我。化。心。必。指
瑞之

九月七日

水野和泉守侯

安友對馬守侯

松平大進守侯

日向守侯守侯
△ 瑞文云。此。公。名。氏。不。詳。也。

胡辭。皇。王。清。河。之。辰。前。公。沙。治。也。其

惟。在。公。之。年。也。清。河。公。之。年。也。公。之。年。也。

梅子。相。約。公。之。年。也。平。生。之。痛。之。指。我。有。也。

公。之。年。也。公。之。年。也。公。之。年。也。公。之。年。也。

中。之。年。也。

九月七日

安友對馬守

右。神。波。之。年。也。公。之。年。也。公。之。年。也。公。之。年。也。

公。之。年。也。

胡辨王手書云云
市礼英島位
傳之於世
通之於世
若所
胡辨王
對馬
方
對馬
市
東定宅

南辰之拾七歲 胡辨國王

但此手書之文
乃胡辨王手書也
右面世之胡辨神像中
有胡辨王手書之文

右取 公儀
大書
知
序
笑
少
是
是

初辨皇王遠明之氣也此言分其喜
榮光云云此言中極也此言中極也
中極也此言位也此言位也此言位也
此言位也此言位也此言位也此言位也
此言位也此言位也此言位也此言位也

十月十二日

對馬島
東定宅

享保九甲辰年十月廿二日

初辨國全羅道之國界別者四指九人船乘
同乃也黑山為首也此波來也便如者
後之人以之為人當二月八日之風回也對列
久根浦之波濤也之山前道後順隨之送而流
禮曹參政返歸也身也身也身也身也身也
分也原之身也身也身也身也身也身也
對馬之候也東定宅也身也身也身也身也

宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日... 宣統元年三月八日...

中

儒人名号年

一年二十十二

李ヶイ

一月二十二

金ヒツ

一月二十

尹レユジン

一月四十七

河ソウカン

一月四十一

金トクレイ

一月四十五

崔リツ

一月四十三

金イセン

一月三十二

崔ムカイ

一月二十二

金キンイ

一年二十二

一月二十二

一月二十四

一月二十六

一月二十八

一月三十

一月三十一

二月一

二月三

二月五

二月七

二月九

二月十一

二月十三

二月十五

二月十七

鄭テツツウ

車セーミン

李シユンケシ

洪セーカ

全シユシヨウ

全タイカイ

全ジヨシユ

董キシ

全ホウスイツ

高ミンセン

全セン

安キツ

李テイサイ

高ゲンイツ

全シヨウセキ

全シヨメイ

一月四十二

一月四十四

一月三十九

一月三十一

一月二十八

一月二十六

一月四十二

一月三十二

一月四十一

一月三十一

一月二十五

一月二十四

一月二十六

一月二十八

一月四十七

一月四十六

高シセキ

全ラシツ

高サシキ

車サイコウ

全キカイ

鄭セイホウ

安セキ

申イセイ

高セン

鄭一セイ

高シユセキ

高スツ

高トク

全シヨセイ

全シクワ

翁セイ

一年二十六

一月二十

一月四十一

一月二十

一月二十八

一月二十八

一月二十七

一月二十

一月二十九

一月二十

一月二十二

一月二十一

一月十八

一月十九

一月二十一

一月二十一

李シユシイ

任ナヨウセ

合ナツシ

姜イフシ

白シ

高セーコウ

合シユシ

合シコウ

姜ナヨウハク

朴セン

李トギヨク

合ジサイ

合シユツシ

姜ジカイ

合ジシ

高シヨウセキ

十年二十三日

一月二十又

一月二十

一月二十七

弘具并是也

一舟一艘

長十之為
横口為半

一橋一斗

一樽曰瓶

一木履二匹

一楫一羽

一帳二張

一總之盾

一竹弓一艘

一筥二十枚

一大豆十日積

事は少くせき

厚ハツ

玄ゲルホウ

李タイウ

一 小豆 四十一 俵

一 干柿 四十一 俵

一 栗 八 俵

一 菜豆 五 俵

一 白米 七 俵

一 棧 二十一

一 靴 三 口

一 膳 十二

一 丸 五 二十 枚

一 竹 十 口

一 巾 箱 二十二

一 其 名 盤 二 面

一 巾 茶 盤 二 面

一 口 巾 之 所 二十九

一 棧 口 十一

一 巾 箱 五 十二 又

一四五

一編之

一淺之費八百文

一蜀地法行十

一破法行十

一以呂宋包十七

一芥子搥

一衣皮十枚

一警字片

一法一搥

一油法行又

一四〇の口流一

一古鼓一

心王

辰二月廿日

此大徳の徳長をたすむるに對して徳用と漢氏に對して二不の徳を

朝鮮漂流人口書

一 秋後朝鮮國慶高宗二十七年春三月五日長春府有本漢民等
 沙老公二月廿一日船接人等從漢海軍中隊海邊遭
 福凡其具狀地方漢民等以被難成江凡漂流土回
 四日抵和順大橋上收漢民等及漢人等及父母兄弟等
 法地是之江月日十七日長春府之長春道中江民等
 以江民等之江民福之江民二月廿七日長春道中江民
 今日對府長春道中江民等之江民等之江民等之江民等

之江民等之江民等

一 秋後朝鮮國慶高宗二十七年春三月五日長春府有本漢民等
 沙老公二月廿一日船接人等從漢海軍中隊海邊遭
 福凡其具狀地方漢民等以被難成江凡漂流土回
 四日抵和順大橋上收漢民等及漢人等及父母兄弟等
 法地是之江月日十七日長春府之長春道中江民等
 以江民等之江民福之江民二月廿七日長春道中江民
 今日對府長春道中江民等之江民等之江民等之江民等

漢民名并年

一年甲
 一月二十九
 一月二十
 一月二十二

李おグナム
 金フナム
 金サナム
 金テナム

一年二十

一月二十八

一月二十二

一月二十三

一月二十

一月二十二

和具并之記

一和一艘 長六尺五寸
横一尺五寸

一樽古瓶

一帆二張

一檣二斤

一楫二斤

一篋板十八枚

一篋文十枚

一書篋一匹

一篋二層

全クイザンニ

全クサレナム

全セリシユキ

成ゾナム

成カムドキ

全エセンニ

一 細川 五部

一 綱 一帖

一 町 九一

一 藪 一斗

一 杉 五十枚

一 筆 二斗

一 四十

一 卷 一

一 湯 一

一 寸 一

一 沖 一

一 田子 一

一 子 一

一 桶 二

里

辰三月十日

享保九甲辰歲十一月三日當八月十日田代
涉願分大凡兩造水田畑檢毛之候田代
以代取方分り候月分書片之趣事書用之
事書付申渡以申取水田畑檢毛之候原
定之方抄之申以次是部七家之流上而後
是上之申取申是事書付申渡以申渡候之申取
申取之申取也

肥前國内私候各表録其文由部
當八月十日大凡兩造水田畑檢毛之候

一田畑之三千二百石餘

内田方或千九百或拾石餘

田畑方或百八拾石餘

一倒家九十軒

一田小屋五十二軒

一田廐十二軒

一倒本百三十二石

公孫氏願分三志有之皆以耳見公
孫氏為捕中上者及至無厭之討檢成
下付為後日抄在由使流傳後世為
中上中

右書有述用學日入書

一季係九甲辰年十二月廿九日

若君係年中少壯之時後之修書以計商
少司者如平在為監修事書在書以計商

石次述稿全在書之日後

若君係河上少壯之時後之修書以計商
中上及公少壯之時司年中少壯之時
中上及公少壯之時司年中少壯之時
中上及公少壯之時司年中少壯之時
中上及公少壯之時司年中少壯之時

涉稅儀事... 年始... 方... 之...

十二月九日

宗對馬

東定...

光

一... 乙酉年

大納言... 年... 方... 之...

三月七日... 由... 之...

枯元... 馬... 之...

法... 之... 之...

御... 之...

一... 之... 之...

公... 之... 之...

...

...

享保十乙巳年正月十九日

去秋對列損乞之書符今胡河用番水野

和泉多須之物系由良深為致而後達以去

去秋換乞之儀抄多法布中一之儀延門之儀

以即多去之布之儀江集の積る主以深及之

高月之由之為立以飛脚河所以致而後達以

書符致而後達以石延門之儀法用今中之官之儀

之不以法中達而後致之河用書之儀

當七月廿日八月十四日九月七日對馬風
損色破換之完

一田知八子六百八拾石

内田方四百七拾七石

同知方八子貳百九石

一破損家百之積之

一同寺一ヶ寺

一同堂一ヶ

一同院六拾石

一破船五艘

一古子居七拾石

一流橋

右之介人馬懐我子以石

十月廿八日

宗對馬

享保十三年二月六日

朝鮮西江原道之内襄陽之漢民六人并
慶尚道之内真海之漢民一人長列之内
須佐浦向津具之漢民三人及遠近之
邊徼之漢民以之漢民口之書若年分
和具所為之書并口用者和事之書
及之在東宅之書并口用者和事之書

十月十日

一 津連狀之書

一 津連書之二角

一 漢民口之書并和具所為之書并口用者和事之書

但和紙紙名上之紙之書書也

上書

長列之内須佐浦、漢民之朝鮮人口之書并
和具所為之書并口用者和事之書

上

長列之内向津具

古之書也之書を以て之書を紙に粘付す

上書

朝鮮漢民口之書并和具所為之書并口用者和事之書

新解漂流人口之書

一 秋之儀新解正江原之内襄陽戸下
漢氏之流沙流公一人一和之流南二月七日
為漢子也其變之儀遭之風帆橋樑と換
但風漂流仕同十の在別の内須津浦と漢之
仕の變浦人も各之波抄抱の流と分地乞
之江戸也流口之流送三月十日於 漢の古
之流津之和流浦之江戸四月十日波抄和

去十の山南流之和仕の流表分和申之
流之流此乞之江戸之流之流好
一 秋之儀新解正江原之内襄陽戸下
全中

漢氏若年

- 年一 年十九 全ラニニテ
- 同日十八 孝クイトリ
- 同日十二 全モクトキ

同三十八

李クイロキ

同二十六

今シルゴトキ

同二十二

鄭カグタリ

一 艀一被被シテ

一 檣二本

一 帆二張

一 檣六挺

一 楫二双

一 巾旋一匹

一 多掉二本

一 浴七房

一 巾の挽口

一 同ド三本

一 折髪三反

一 糸腕十二

一 具六

一 鋤三

一 釜三

一 危下一反

一 多楯二

一 蓬七反

一 田子一疋

一 魚六疋

一 奥泊うぬ十三法

一 籠三十反

一 巾六

望

同日月十一日

胡解德流人 口書

一 秋之候 船部 出度 尚道 内 真海 多事
漢氏 云云 亦在 公 尚 二月 八日 甲子 一 船 出 此 地
漢 云 云 亦 知 俄 一 再 凡 注 以 教 帆 并 播 亦
船 具 損 壞 凡 流 流 仕 同 十 字 名 七 乃 自 海 也
流 志 仕 以 交 海 人 船 以 絕 沙 於 云 云 亦 也 也

一 秋之候 船部 出度 尚道 内 真海 多事
漢氏 云云 亦在 公 尚 二月 八日 甲子 一 船 出 此 地
漢 云 云 亦 知 俄 一 再 凡 注 以 教 帆 并 播 亦
船 具 損 壞 凡 流 流 仕 同 十 字 名 七 乃 自 海 也
流 志 仕 以 交 海 人 船 以 絕 沙 於 云 云 亦 也 也
一 秋之候 船部 出度 尚道 内 真海 多事
漢氏 云云 亦在 公 尚 二月 八日 甲子 一 船 出 此 地
漢 云 云 亦 知 俄 一 再 凡 注 以 教 帆 并 播 亦
船 具 損 壞 凡 流 流 仕 同 十 字 名 七 乃 自 海 也
流 志 仕 以 交 海 人 船 以 絕 沙 於 云 云 亦 也 也

漢氏若平年

年四十八

張セリ人

同四十二

鄭マシセシイ

同四十一

姜セクニブ

同三十八

尹ニシム

船具并為也

一船一艘 横二部 一櫓二枚

一帆二枚 一尺繩二節 一楫二枚

一櫓二挺 一總之房 一筵中及

一付六十枚 一舟楫八枚 一枓及反

一系纜八 一四口 一合を

一福を 一田子一系 一危丁反

一楫を 一長口 一紙合反

一舟中 一網七帖

上

自三月下

享保十乙巳年二月六日

新編五江全図内江陵之漢民九人云云
一丁右列之内江方浦口致漢民少引道
一丁如少道方新編五江全図内江書年
一丁漢民少引道方浦口致漢民少引道
一丁漢民少引道方浦口致漢民少引道
一丁漢民少引道方浦口致漢民少引道

一江連出通
一江連出通
一江連出通

一漢民少引道方浦口致漢民少引道

一江連出通

右列之内江方浦口致漢民少引道

一江連出通

一江連出通

一江連出通

一江連出通

漢氏之流在九人一艘其地當丁古
為漢子其變又俄而風法其或後致
洋中其播折之介其包括一但風漂
浪仕因九石別之內津方海其新
漢其仕其變又浦人之波友抱法版
其氣之流其也流其也其送日其
沙其其下其流其也其一艘其補其
中其其下其流其也其一艘其補其
其一艘其仕其也其流其也其一艘其
其一艘其仕其也其流其也其一艘其
一艘其仕其也其流其也其一艘其
新進之會其也

漢氏若年

年甲子

李イツ

同六十二

林之ヲトキ

同甲八

全クイザン

同字七

全クイセシ

同字六

全トセシ

同字六

張テクヲルソイ

同字七

林クイニラ

同字十

全十トキ

同字三

言クイトキ

和具并名

一船一被七ナシ

一橋二本

一帆二港

一楫二舟

一櫓七挺

一市艇民

一楫二房

一板二舟

一舟楫二舟

一蓬八舟

一舟二舟

一船二舟

一舟子の板二七

一舟二舟十九

一舟子の舟二舟

一舟二舟九板

一舟二舟十一

一舟二舟九

一舟子二舟

一舟二舟

一舟二舟

一舟二舟九

一舟二舟

一舟二舟九

と

二月十九日

享保十乙巳二月十六日

水野和泉公侯上云十四日信田守居之云方診来
右信田守之信書云家胡餅茶材若本會歎之信田用相
勤以汝人之信書云若書之信云信田用人之信云信田用
堅之十五日享保六乙巳年有之信田用相勤以年有年
能之以下之小汝人之信書云若書之信云信田用相勤以年有
以信田用人之信書云若書之信云信田用相勤以年有年
書之信田用人之信書云若書之信云信田用相勤以年有年

享保十己巳年二月廿三日法月書松平
右通將監取由是為之政事之法月人與村
又為之政而後中在之對馬書之例書為之
持系法月自之書書為取之及公之例以味
法月書之之勢大書之等燒失以之自後之
由之公取之書也
公取之書事之自之對列之釋友之令之例
吳之公書書也取之自之物也行書

修身

文昭院攝師書法者攝師為成此為對列也
法言為成也統攝中之山亦例如人常以
之言為攝師法也亦如

若君儀師弘中儀師為之亦如也

師代師分也出也通也使也後也如也

右通師弘分也例如人常以弘友也中如

使使也上之友也我友人人數百人分也

對列也後也世後也如為也如中達也由也

法言也書也書也後也也則也也也也也也

是也也也也也也也也也也也也也也也

達也也也也也也也也也也也也也也也

定之定

若君儀師弘中儀師為之亦如也

使去也中也也也也也也也也也也也

法言也統攝中之山亦例如人常以

此法言也三月十日
白盤林也法言也

山西

何也對列也法言
法言也統攝中之山

制冠必上使去云後身世長年同下
以之

正月

宗對馬守

右并書中切恐為法故等之也又人生書亦名
書有也

免

一教有院攝師延生之為也解必下以

法使法以院中上之

一常憲院攝師書以君攝可力成之為

教有院攝 堯師同之法也

師代第分為也院攝法使及後中

一德和攝師延生之也

常憲憲院攝師書以君攝可力成之為

法延生之也取法使支加言也此也

彼國今亦院攝可力成之也

一文昭院様 仰貴君御事成り候
御必命法祝詞以伝使の事と成り分
中安出者接取人の任印と事家新廣
及下候由の及接取人の方此以分
其由及接取人此對列と記置候
法祝儀中と云

一若君御事成り候法祝儀中山宮御辨
此傳事候後先例之御事
云

二月
宗對馬守内
原宅奉

右中事之御事候法祝儀事也

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

戸田山城之役安反對馬之役亦甚奮動
是門之守備甚固守居之書亦甚有固人
持事之通り上と下と山城之役も固人
中將也亦甚奮動對馬之役も固人之堅
全云清くも亦後之序況中へ之行上と下と
中へ之守備も固人

一筆波破り

公方様 若君様 尊清様 榎能へ

清君等之悦は松島私儀も奮動あり
廿二日攻守如去二日又廿三日松島
廿四日古沢洋中一逆風も甚く家府
之以後雨久逆風も甚く今十九日
國許出帆は日暮別津戸浦波
着如く古船及是門より世渡り上
持飛札件迄は松島

三月十九日

水地初集考類
松平左近將監類
松平伊賀守類

甲上元

對馬考後為龜動二月廿二日波
系船少變步續不次台船及遊訂
作分先月三日又台全以風系言

山切去押而波出物作廣支日左
浪洋中逆風系波事廣主以右
兩天逆風亦續漸去厚九日由元
和既色列浪戶浦波看書作
之以後以風亦續言戶波部斗以
海上之候石戶可好系府也門江
亦之部候事好公世候中上以格戶
張公上

月日

家對馬島使

東定古海

法蘭西

松平信綱書

△此書中の上古史記
委細の上巻より取

戸田山城書

山陽

安房對馬書

右科紙書書中切五濃紙書書色書口是

行一内何葉之邊

享保十己巳年二月七日

。聖一日書乃美水沖和紙製紙法取由之長
切邊内之書法所成色紙之書乃
之細打之書法所成色紙之書乃
之今之紙之書法所成色紙之書乃
之今之紙之書法所成色紙之書乃
之今之紙之書法所成色紙之書乃
之今之紙之書法所成色紙之書乃
之今之紙之書法所成色紙之書乃

六月

宗對馬

享保十七年六月廿八日

殿様沖實名之儀 沖代之義之字之
以用之遊以有今度及以段之在度之台兼之
沖中法思以有林太字以在法名兼
以考成以輕成以名以中連以考以調以
其作以 義誠標之段成最力以在
水神和采書候以大浦右左衛門候被仰
以申以志守以江之右衛門及面候

享保十七己酉年八月四日

云辰年卯解玉皇乾豊云吊命之儀
村常力胡解玉皇即位之儀
常書海云之儀
礼曹春滋之儀
遊海二君
身年之儀
口上書之儀
お流法用者松平
左近將監物之儀
此等之儀

享保十七己酉年八月四日
相渡り之儀
左近將監物之儀
此等之儀

右口上書之儀

口上

云辰年卯解玉皇乾豊云吊命之儀
儀之儀
遊海二君
身年之儀
口上書之儀

八月四日

宗對馬

呈

朝鮮國王即位之承儀使使臣等奉
禮曹參議送送儀等事以江以海而投見
為之空

八月四日

宗對馬

亦送儀等拜紙之書

朝鮮國王就喪之吊意底中其以送禮曹參議之送儀
并別幅

朝鮮國王即位之承儀使使者其以禮曹
參議之送儀并別幅
亦送儀并別幅

朝鮮國禮曹參議李

喬岳

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

本邦臣民無祿奄遭

大喪攀號莫速摧痛何極即蒙

厚誼專价

弔慰深增悲感周知攸喻

賻儀謹已轉

啓肅薦仍將菲品略此附謝統希

盛亮不備

乙巳年二月 日

禮曹參議李

喬岳

別幅

人參叁劬

虎皮貳張

白苧布拾匹

黑麻布柒匹

白木綿貳拾匹

花席拾張

四張付油菴參部

黃毛筆肆拾柄

真墨肆拾笏

際

乙巳年二月 日

禮曹參議李

喬岳

日本國權馬氏太宰命黃平公 閣下

賚翰禮曹參議黃平公 財生

奉

新王誠禮克備况茲頌祝辭意勤摯非惟

兩國永世之慶亦惟

左右實體

先拾遺之志有此不替之懿肆我

聖上特嘉忱悃亦粵

黃毛筆肆拾柄

真墨肆拾笏

際

乙巳年二月 日

禮曹叅議李

喬岳

朝鮮國禮曹叅議金

相玉

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公

閣下

遠勞

星槎益篤隣好賀我

新王誠禮克備况茲頌祝辭意勤摯非惟

兩國永世之慶亦惟

左右實體

先拾遺之志有此不替之懿肆我

聖上特嘉忱悃亦粵

朝廷多荷

眷誼深增欣悅不容稱謝表文

多儀謹即轉

啓仍將別幅略申回敬土產不腆只冀

降荒領統惟

朝是宗照不備

乙巳年三月日

禮曹參議金

相玉

虎紋伍張

豹皮伍張

白苧布叁拾匹

白綿紬叁拾匹

黑麻布叁拾匹

白木綿壹佰匹

花席叁拾張

朝廷多荷

眷誼深增欣悅不容稱謝表文

多儀謹即轉

啓仍將別幅略申回敬土產不腆只冀

莞領統惟

崇照不備

別幅

日

121

人參拾觔

虎皮伍張

豹皮伍張

白苧布叁拾匹

白綿紬叁拾匹

黑麻布叁拾匹

白木綿壹佰匹

花席叁拾張

一切支册家門次第之解意今公亦致
中作各年之次第沖法度及書之後
海亦有私領中者少之也其意甚重
家中之者少之也其意甚重及後金後之歲
不著而後者少之也其意甚重

一古切支册之新族之者其常之以為難及後
之也其意甚重

一領中者少之也其意甚重

一田畑言武方子名之指其名也其意甚重

田畑言武方子名之指其名也其意甚重

田畑言武方子名之指其名也其意甚重

一法家言其指其名也其意甚重

一因社指其名也其意甚重

一因臺其名也其意甚重

一因寺其名也其意甚重

一因中其名也其意甚重

一回既九指九折

一破換家子古百指九折

一回社推定折

一回寺三指或寺

一回中倉三百指九折

一回既八百折八折

一破永大尔三指九折

内七艘後世

一換永大尔四指七艘

内八艘後世

一遠指或寺

一流材木古指八丁

一倒木寺方字百指九折

右之舟人馬修後分之元也

十月部

冲若

右科儀等書中切當儀成之包し上書也 冲若舟人

但右部之儀等書中切當儀成之包し上書也 冲若舟人

對馬書院分此書也
換毛之云々

一曰烟三子七百四拾七之八年版

曰回子三子百八拾或之四年八年版

曰加子三子百六拾或之五年版

不之南書早題步讀八月三日是之風氣法之云
云々交換毛之云々

十一月

對馬書院

東毛之馬

享保十三年十二月二日

若君様 沖江公仰出 浪高 兼氣 兼氣

平田 兼氣 兼氣 兼氣 兼氣 兼氣 兼氣 兼氣

由國 漢 禮 書 系 列 名 物 取 寄 書 目 名 條 目

也 以 人 例 以 中 書 條 目 之 名 也 兼 氣 兼 氣

和 名 書 目 條 目 兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣

兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣

名 物 取 寄 書 目 兼 氣 兼 氣 兼 氣 兼 氣

涉光 城之慶多喜送玉治事人
方上中戸安世後

返筒袋名

同箱上押紙

書付右之包

若君様御河江御出候胡朝國御邊
儀禮曹参判之返筒袋列幅

右書付一紙之禮之

日本國對馬州太守拾遺平

方誠

奉書

朝鮮國禮曹参判大人 閣下

辰下日在東井宍惟

貴國肅清

本邦輯和共堪騰權我

國新有立

儲之慶遐邇趨賀喜浹闔國盛事莫大於斯其在

隣誼可徒措茲差正官平方直都船三平才奉
謹用申

聞瑣略別楮聊旌鄙悰

鑑領為榮餘冀對時

益珍肅此不備

享保十年乙巳五月日

對馬州太守拾遺平 方誠

參判別幅

貼金小屏風貳雙

彩畫掛硯壹備

彩畫有趺飯盤貳拾枚

彩畫衣桁貳脚

黑漆華箋匣壹箇

粹鑽中茗盃拾箇

赤銅茗爐貳圍

水晶筮緒參結

黃連拾斤

整

享保十年乙巳五月日

對馬州太守拾遺平 方誠

朝鮮國禮曹參判李

箕翊

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 問下

槎便忽屆

華翰隨至仰認

貴國新有建

儲之慶其在

隣好曷勝歡喜之忱別幅

佳既深用感荷不腆土宜粗申回敬惟冀

興居順序益珍不備

乙巳年八月 日

禮曹參判李箕翊

在庚子年八月

款

款

白綿紬拾匹

黑麻布拾匹

白木綿參拾匹

花席參張

儲之慶其在

隣好曷勝歡喜之忱別幅

佳既深用感荷不腆土宜粗申回敬惟冀

興居順序益珍不備

乙巳年八月 日

別幅

大參貳觔

135

虎皮貳張

豹皮貳張

白苧布拾匹

白綿紬拾匹

黑麻布拾匹

白木綿參拾匹

花席參張

四張付油笔參部

黄毛筆參拾柄

真墨參拾笏

際

乙巳年八月 日

禮曹參判李

箕翊

享保十七年十二月四日

胡辭國慶尚道蔚山、漢民武人、京道
平海、漢民武人、京道一艘去年十月
九日、故風回十二日、名、白、松、葉、浦、上、漢、民、武、人、京、道、一、艘
今羅道、內羅列、百姓、十、人、京、道、一、艘
去年十月七日、故風回十二日、名、白、松、葉、浦、上、漢、民、武、人、京、道、一、艘
安新、口、漢、民、武、人、胡、辭、人、二、組、其、故、國、上、口
送、由、以、處、從、禮、曹、參、判、送、物、政、書、日、身、身

尺牘式第每漢氏以之書或通以用書
水野和泉多後之說本左治書之尺牘卷之
少以次之少以之書每中其書後以尺牘
作信之書少與之為入進分之書中先
中少以廣進之從之也

十月廿九日

沖志出二通

尺牘式箱

漢氏以之書每尺牘之行物之書分或通
但此書分尺牘之書每紙之濃紙之書色

上書六

胡辨漢流人以之書每尺牘之行物之書

石字之書色之也相小之書之尺牘之書

石列之尺牘浦之漢名胡辨人以之書每

名年之尺牘之行物之書分但一以之書

尺牘之漢名之胡辨人以之書每尺牘

私具行物之書分 但一以之德

送物若後紙書分

石列內松東浦流流之胡解人送他身

從禮曹奉議之長務安列幅

肥前之月之德領流流之胡解人送他身

從禮曹奉議之長務安列幅

右武箱

胡解漂流人一人之書

一秋之候胡解國慶尚道蔚山之者或人

以京道平海者或人一人之流民之書

蔚山之者或人送平海之書或人

一私宗組去年十月九日由私社必微遭程風

揮上預之地方清島山波難成何風致漂流

同十二日石列松平周防等處領內松東浦等處

私社社以慶浦人出入之政及採出領等處

此地之江有同共之陸上等備止之書

十月九日於 津東以所出以傳之 船傳補
 正印自正月廿九日 當信被出 船中亦有
 對岸出船 往 長崎 教古 船中 亦 候
 少地 乞 正印 自 那 有 往 合 年 候
 一 我 宗 旨 候 出 為 成 常 觀 誓 新 進 之 家
 淺 氏 名 年

年六十二
 同二十
 蔚山者

金クムセニ
 漫オホイシ

同三十二
 同二十五
 平海者

金クムセキ
 權ノグナム

船具並行物

- 一 船一艘 長廿八尺 幅五寸
- 一 帆或法
- 一 楫一打
- 一 碇九房
- 一 河舟木板一枚
- 一 檣或巾
- 一 櫓七挺
- 一 篷百拾九枚
- 一 碇一匹
- 一 水掉或拾巾

一 刀小拾中
 一 刀大拾中
 一 刀大拾八
 一 版瑞一
 一 寸中一
 一 匙中一
 一 刀大拾一
 一 匙中一
 一 刀大拾一
 一 版瑞一
 一 寸中一
 一 匙中一
 一 刀大拾一
 一 匙中一
 一 刀大拾一
 一 版瑞一
 一 寸中一
 一 匙中一
 一 刀大拾一
 一 匙中一

一 小刀拾中

所

己 二月十七日

胡解源流

一 初、後胡氣困全羅道、自羅列等事
 百姓、自、去年十一月三日拾一人、船、字、組
 穀物、為、高、費、古、海、邊、多、不、志、出、船、江、家

因七日俄遭暴風船中急捨洋中漂流經風
漂流往回十方之度又得漂流名及彼船
書船主人家口名亦少處浦人以此及船
之書送予連此願之衣服復亦未之
以此之江舟回舟之彼地出船於江
西之江舟回舟之彼地出船於江
以此傳之衣服之江舟回舟之彼地
當年二月十日也諸出船今其月也

舟船仕人出諸表方船中至江之江舟
江舟船有日也

漂流民名表

一初之宗方之江舟船出船於江舟

年四十二 三月十三日 同日十八 三月廿二日

同日十三 三月廿二日 同日廿二 三月廿二日

同日二十二 三月廿三日 同日廿二 三月廿三日

同日三十日 三月廿三日 同日廿六 三月廿三日

目二十八 イシニ

目二十二 キムチニ

目十八 キムチニ

船具並荷物

- 一 船板拾枚
- 一 船木拾束
- 一 櫓三挺
- 一 碇三枚
- 一 綱三三房
- 一 口汗拵三枚
- 一 菱拵三枚
- 一 杉浦拵三枚
- 一 多毛籠二十二
- 一 四三子三

- 一 天目拾七束
- 一 徳式
- 一 丁口御三
- 一 柘抄三束
- 一 兼洗桶貳
- 一 水桶二

己二月廿七日

石引船具浦江邊多之羽船人(之邊)長也船
 出此船浦江邊多之羽船人(之邊)長也船
 出此船浦江邊多之羽船人(之邊)長也船
 出此船浦江邊多之羽船人(之邊)長也船

胡辭正以京道之内三階より本に波瀾を以て
例に毎山業内にて行はせしむる事状
志中未だ分りし書物使に用者なる事難
不究に爲持来し月人亦早に云々
此等之書に就て是等之書は其格あり
此等之書より取定て書物に用者あり
居山業内沖城に山邊に波瀾を以て
書物に用者あり其細事是等之書に
用者あり

右の中右の山業内にて行はせしむる事状
ト云ふ取定て之書に用者あり

口之先

捨品右取者九人長品亦乃関志三人
羽列祐田之内能代志三人惣合十口人
右取長品内源内祐田能代越前志乃
志中者五人持合武拾二口之取者
乃高濱松茶、其紙苗八月廿一日波瀾

九月朔、分風、每海、同、三、一、夜、中、船、換、新、
沉、舟、多、以、一、者、其、楫、如、乘、移、至、新、船、
風、流、以、交、同、古、一、夜、胡、解、國、江、亦、乃、也、
三、防、中、亦、曰、波、漂、名、以、舟、彼、臣、和、敏、若、雲、
私、家、來、者、昔、今、中、右、漂、人、家、門、亦、其、味、
以、交、別、分、難、受、儀、也、一、方、中、越、以、漂、人、一、儀、
對、初、曰、渡、海、中、中、杉、又、波、以、味、別、乘、其、一、
兼、以、以、修、初、也、也、也、也、也、儀、以、方、也、夜、
町、中、事、以、和、と、傳、志、名、及、儀、可、送、死、以、善、細、
造、以、中、上、以、先、以、版、以、葉、同、中、上、以、以、以、

十一月十六日

清名



